

第1章 LibreOffice とは

1. LibreOffice とは

(1) LibreOffice は、ドキュメント財団 (The Document Foundation) が開発している無料で使用できる Office 系のソフトです。

オフィスでよく使用するソフトを1つにまとめた統合ソフトで以下のソフトウェアが含まれており、随時、切り替えて使用できるので便利です。

この資料は、Microsoft Word を持たない方、または、持っても Word に相当する無料の文書作成ソフトを使ってみてみたい方のために、「Writer」の初歩的な使い方を学習するために作成したものです。

名 称	機 能 (使用例)	Office との対応
Writer	ワープロ (文書作成)	Word
Calc	表計算 (表、グラフ、データ分析)	Excel
Impress	プレゼンテーション (プレゼン資料)	PowerPoint
Base	データベース	Access
Draw	図形描画 (チラシ、イラスト、レイアウト図)	Publisher
Math	数式 (文書に埋め込む数式)	(数式エディター)

(2) LibreOffice の使用するバージョンはバージョン 4.0.6 です。

LibreOffice は、数か月に1度程度で新しいバージョンがリリースされていますが、この資料では、2013 年 12 月現在、開発が終了しもっとも安定しているバージョン 4.0.6 を使います。また、公民館会場のパソコンには、ソフトのインストールができないため、このソフトを USB に入れ、どこでも使用できる Portable 版「LibreOffice Portable 4.0.6」を使用します。

したがって、ここで解説する Writer は、「LibreOffice Writer Portable 4.0.6」です。

(3) LibreOffice Writer Portable 4.0.6 の特徴は次の通りです。

- i. 誰でも無料で入手できる Free ソフトです。
- ii. USB に入れて持ち運ぶことができ、どのパソコンでも使用できます。
- iii. 初歩的な使用法では Word 並みの機能があり、Word が持っていない下記の例のような機能もあります。
 - * 文書に画像を挿入した際の画像の「飛び」が発生しないため快適に使えます。
 - * オブジェクトを簡単に回転させることができます。
- iv. Microsoft Word とは互換性があり、Microsoft Word で作成した文書を Writer で開いて編集することができ、また、Writer で作成した文書を Microsoft Word で開いて編集することもできます。

(ただし、一部互換性のない機能もあり、文書のレイアウトなどが崩れることもあります。)

(4) 事前準備として、USB に次の 3 つソフトをインストールする必要であり、次項以下で順次解説します。

- i. LibreOffice Portable 4.0.6 本体

- ii. Java のポータブル版
- iii. LibreOffice 拡張機能
- iv. IPAex フォント

なお、ここで使用する「LibreOffice Writer Portable 4.0.6」は、上記(5)の処理が済み、このテキストの第2章3までの初期設定が終了したものを 사용합니다。

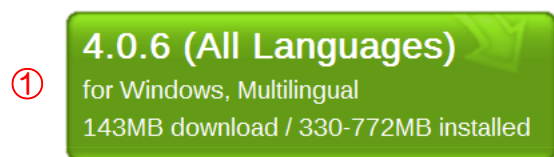
2. LibreOfficePortable4.0.6 のダウンロードとインストール

(1) ブラウザーから LibreOfficePortable4.0.6 のダウンローダーを取得する。

- i. ブラウザー（ここでは、Internet Explorer）を起動し下記に接続する。

http://portableapps.com/apps/office/libreoffice_portable

- ii. 表示されるメニューから「4.06 (All Languages)」①をクリック



- iii. 「ファイルのダウンロードセキュリティの警告」②画面で「保存」③→「名前を付けて保存」④画面が出る→保存場所をデスクトップに作成

してる「libre406」⑤フォルダとし、「保存」⑥ボタンをクリック



iv. 「libre4.0.6」フォルダ内に「LibreOfficePortable_4.0.6_MultilingualAll.paf.exe」⑦ができる。

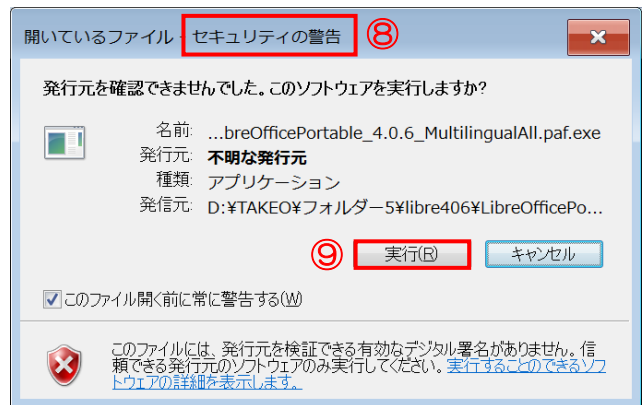
⑦

LibreOfficePortable_4.0.6_MultilingualAll.paf.exe

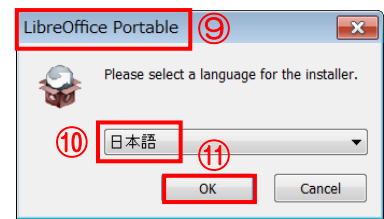
(2) ダウンロードしたインストール用実行ファイル

「 LibreOfficePortable_4.0.6_MultilingualAll.paf.exe」⑦をダブルクリックで起動する。

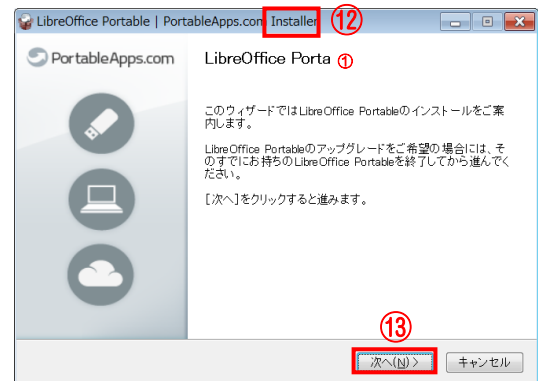
(3) 「セキュリティの警告」⑧があるので「実行」⑨をクリック。



(4) 「Installer Language」⑨画面が表示されるので、「日本語」⑩を選択して「OK」⑪をクリックする。

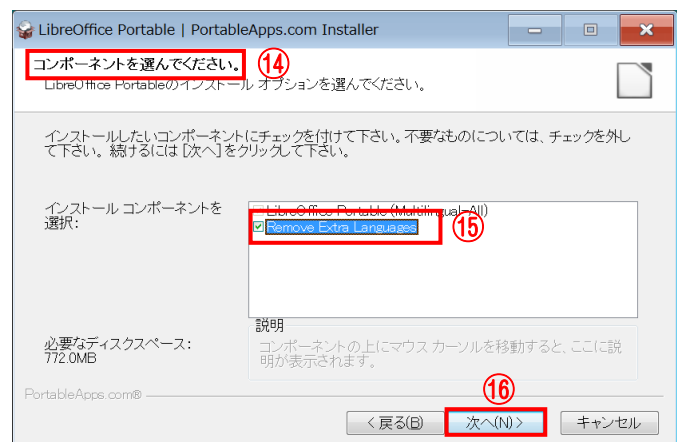


(5) 「インストーラー」⑫が起動するので、「次へ」⑬をクリックする。



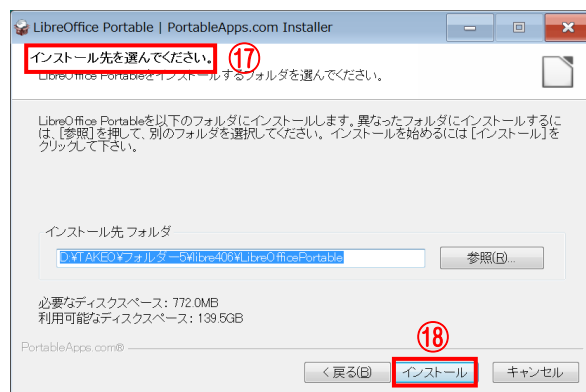
(6) 「コンポーネントの選択」⑭画面が表示されるので、「Remove Extra Languages」⑮にチェックを付けて「次へ」⑯をクリックする。

注：これにより日本語以外の言語ファイルとテンプレートを削除することで空き容量が 230MB ほど増える。



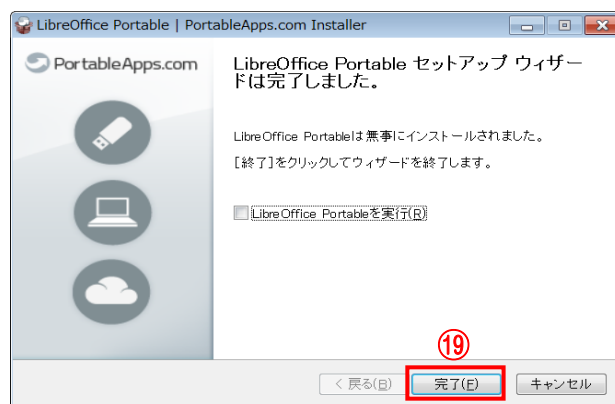
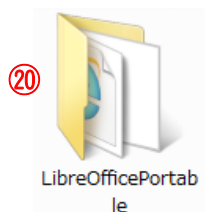
(7)「インストール先の選択」①⑦画面が表示されたら、インストール先フォルダを「libre4.0.6」に指定して、「インストール」①⑧をクリックする。

・・・インストールが開始される。完了までに30分程度かかる。・・・



(8)「完了」画面がでる→「完了」①⑨をクリックする。

「libre4.0.6」フォルダ内に「LibreOfficePortable」②⑩フォルダができている。



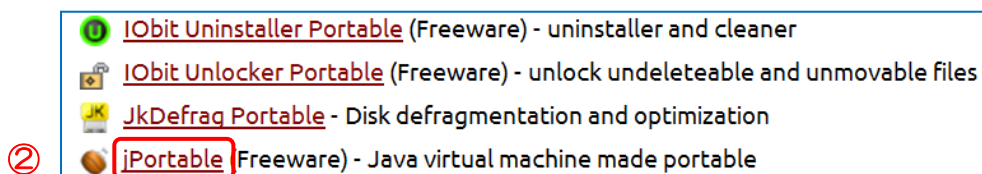
(9)「LibreOfficePortable_4.0.6_MultilingualAll.paf.exe」⑦は削除する。

3. Java のポータブル版のダウンロードとインストール

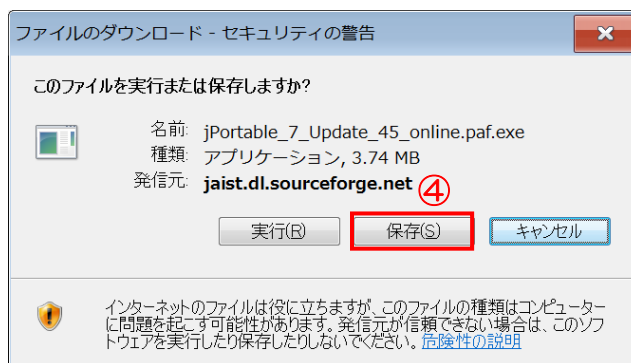
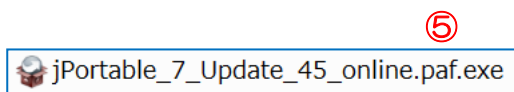
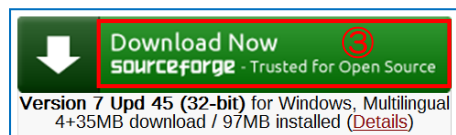
(1)ブラウザから PortableApps.com (<http://portableapps.com/>) を開く→「Get Apps」①をクリック



(2)「Portable App Directory」の画面になる→画面を下方へスクロールし→「Utilities」グループの「jPortable」②をクリックする。



- (3) 「Download Now sourceforge・・・」 ③ボタンをクリック→「セキュリティの警告」画面で保存場所を「libre4.0.6」フォルダに指定→「保存」 ④ボタンをクリック→「jPortable_7_Update_45_online.paf.exe」 ⑤ができる。

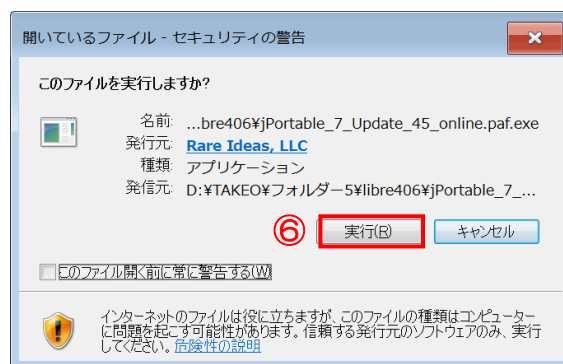


- (4) ダウンロードした jPortable のインストール用実行ファイル

「jPortable_17_Update_45_online.paf.exe」

- ⑤をダブルクリックで起動する。

- (5) 「セキュリティの警告」画面では「実行」 ⑥をクリックする。



- (6) 言語選択画面では、「日本語」 ⑥が選択されていることを確認し→「OK」 ⑦をクリックする。



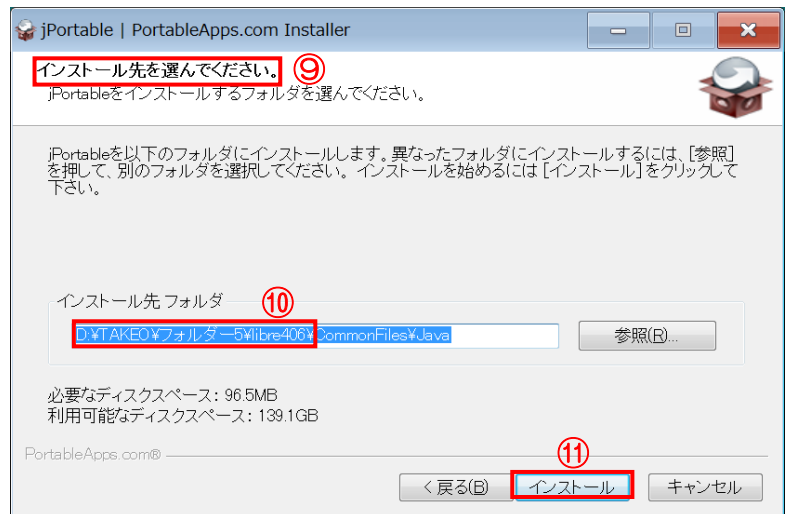
- (7) インストール画面では「次へ」 ⑧をクリックする。



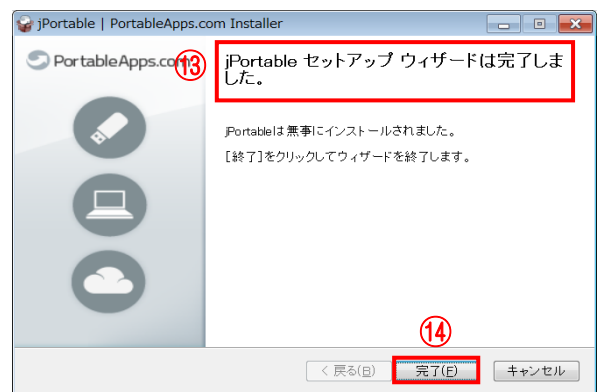
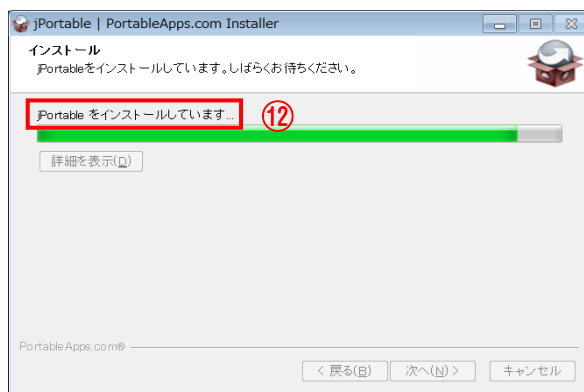
- (8) ライセンス契約書が表示されるので「同意する」をクリックする。

- (9) 「インストール先の選択」 ⑨画面が表示されるので、「インストール先フォルダ」項の「参照」を

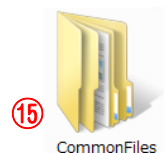
クリック→インストール先フォルダがデスクトップの「libre4.0.6」
⑩となっていることを確認して→
「インストール」⑪をクリックする。



(10)「java をダウンロードしています」画面が進行した後、「jPortable をインストールしています」
⑫画面が進行し→「完了しました」⑬画面となる→「完了」⑭をクリックする。



(11)「LibreOfficePortable4.0.6」フォルダの中に「CommonFiles」⑮フォルダが
できている。



(12)「jPortable_17_Update_45_online.paf.exe」④ は削除する。

4. LibreOffice 拡張機能のダウンロードとインストール

LibreOffice には、日本語環境に適した初期設定を行うテンプレート、実用テンプレート、クリックアートなどを組み込むための拡張機能「日本語環境改善拡張機能（Default Setting for Japanese 略して「DSFJ」）」があり、以下の方法で、①DSFJ-IPAex、②Default Settings for Japanese、③DSFJ-SozaiOOo の3つのファイルをインストールする。

(1)下記の Web サイトに接続する。

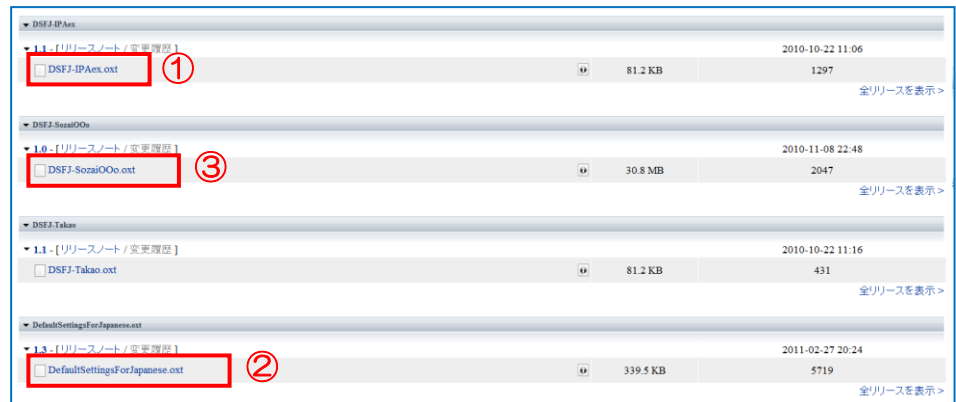
<http://sourceforge.jp/projects/openoffice-docj/>

(2)「OpenOffice.org ドキュメントプロジェクト」画面が開く→「ダウンロードファイル一覧」をクリックする。

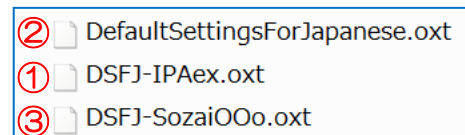


ダウンロードファイル一覧

(3)ダウンロード一覧が開くので、「DSFJ-IPAex」① をクリック→デスクトップの「libre4.0.6」となっていることを確認同様に、「Default Settings for Japanese」②、「DSFJ-SozaiOOo」③ をクリックしてダウンロードする。



(4)「libre4.0.6」フォルダ3つのファイルがダウンロードされているのを確認する。

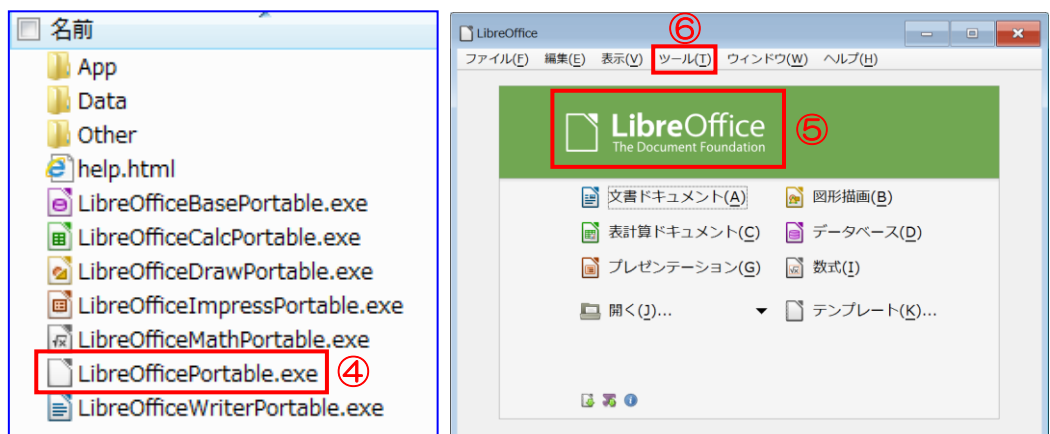


(5)LibreOffice 拡張機能のうち、まず、「DSFJ-IPAex」をインストールする

拡張機能のインストールは必ず、①「DSFJ-IPAex」②Default Settings for Japanese、③DSFJ-SozaiOOo の順にインストールすること。順番を間違えるとエラーの原因になります。

i. LibreOfficePortable を起動する。

前記2(7)でインストールした「LibreOfficePortable」フォルダをダブルクリックで開く→中にあるリストから「LibreOfficePortable.exe」④をクリックする→「LibreOffice 3」⑤画面が開く。



ii. 「ツール」⑥→「拡張機能マネージャー」⑦を開く。

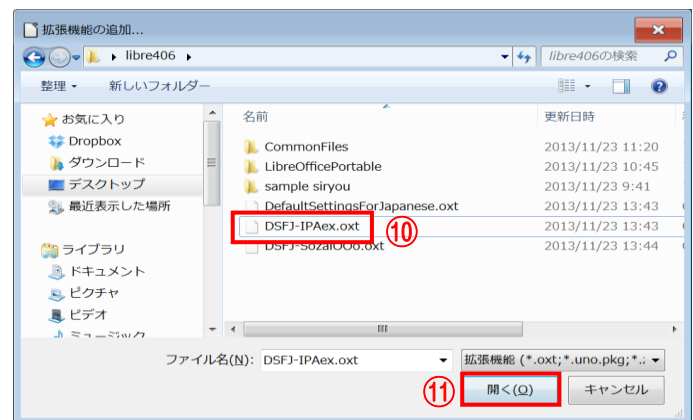


- iii. 「拡張機能マネージャー」⑧画面が開くので「追加」⑨をクリックする。

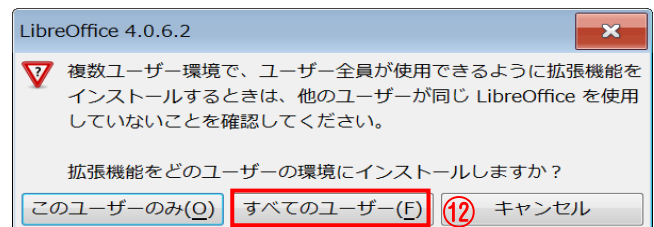


- iv. ファイルを開くダイアログボックスが表示されるので、ダウンロードした「DSFJ-JPAex.oxt」⑩を指定して「開く」⑪をクリックする。

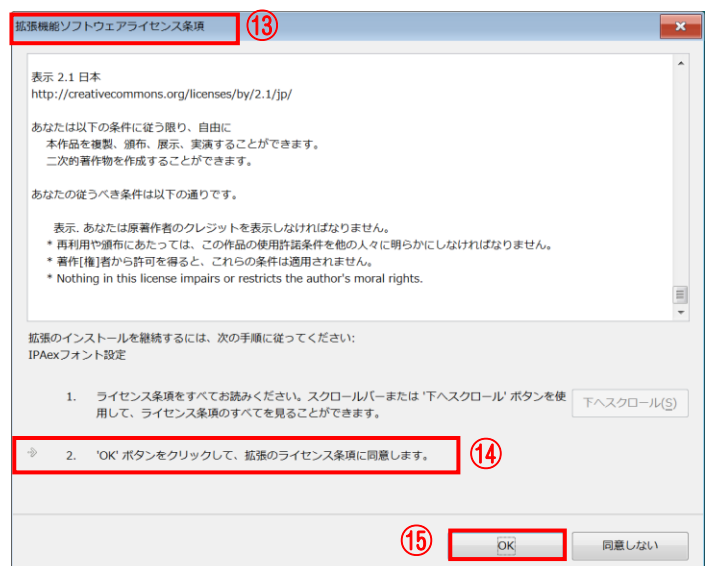
※必ず DSFJ-JPAex を最初にインストールすること。



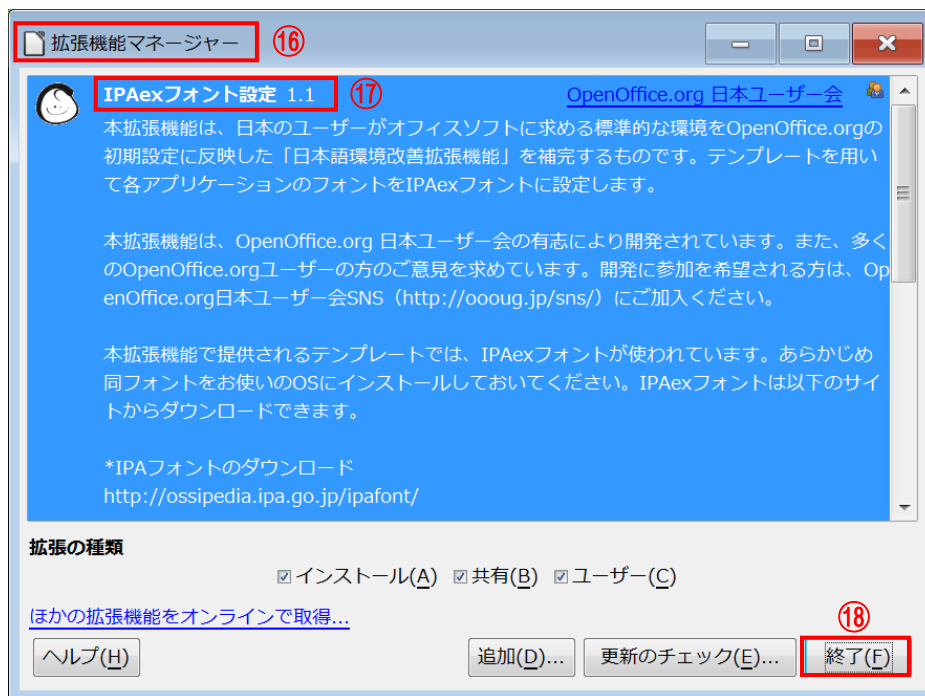
- v. 右図が表示されるので「すべてのユーザー」⑫をクリックする。



- vi. 「拡張機能ライセンス条項」⑬が表示されるので「下へスクロール」ボタンをクリックしてスクロールしながらライセンス条項（英文）に目を通し→最終行までスクロールすると「OK」ボタンが有効となり、「OK」ボタンをクリックして、拡張のライセンス条項に同意します。」⑭の左側に「⇒」が移っているのを確認して「OK」⑮をクリックする。



- vii. インストールが開始され「拡張機能マネージャー」⑬画面に「IPAex フォント設定」⑭が表示されるとインストール完了ですので右下の「閉じる」⑮をクリックする。



- (6) 以下、同様の手順で ②DefaultSettingForJapanese (本体) と③DSFJ-SozaiOOo をこの順序でインストールする。

- (7) 全てのインストールが完了したら右上の「×」⑯をクリックして LibreOffice を終了する。



- (8) インストールに使った 3 つのファイル①・②・③は削除する。

- ② DefaultSettingsForJapanese.oxt
- ① DSFJ-IPAex.oxt
- ③ DSFJ-SozaiOOo.oxt

5. IPAex フォントのダウンロードとインストール

前記4の拡張機能では IPAex フォントがテンプレートとして使用されていますが、LibreOffice には組み込まれていないので、IPAex 明朝と IPAex ゴシックの 2 つのフォントをインストールする。

(1) 下記の Web サイトに接続する。

<http://ossipedia.ipa.go.jp/ipafont/ipaexfont/download.html>

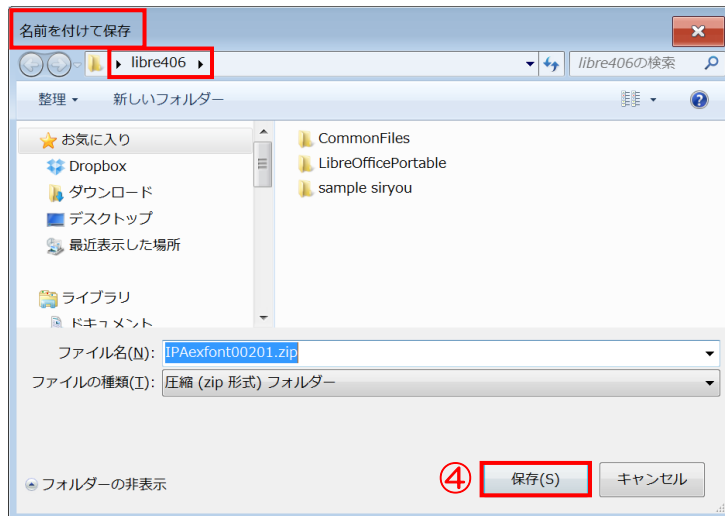
(2) 下記の「IPAex フォント ダウンロードページ」①画面となるので、その下に表示されるライセンス条項を最下段まで読む。



(3) 「IPA サイトからのダウンロード」②画面がでるので「2書体パック」③を選択して右クリック→「対象をファイルに保存」クリック



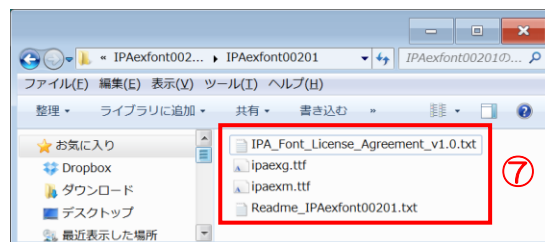
- (4)「名前を付けて保存」画面があるので保存先が「libre406」となっていることを確認し→「保存」④をクリック



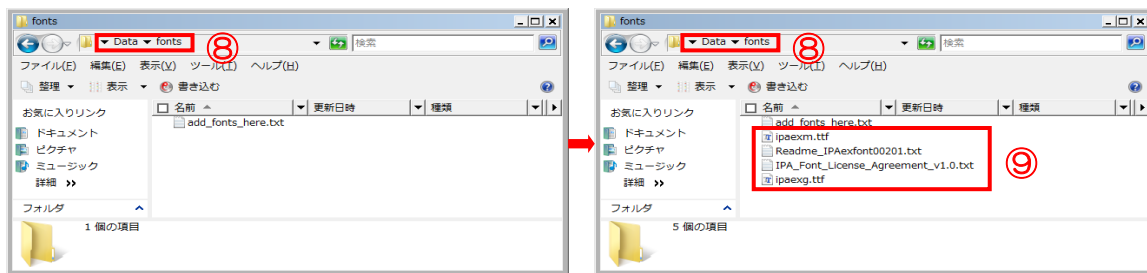
- (5)「libre406」「IPAexfont00201.zip」⑤ファイルができている→ファイルの上で右クリック→「すべて展開」クリックで解凍する。・・・「IPAexfont00201」⑥フィルダができる。「IPAexfont00201.zip」⑤ファイルは削除する。



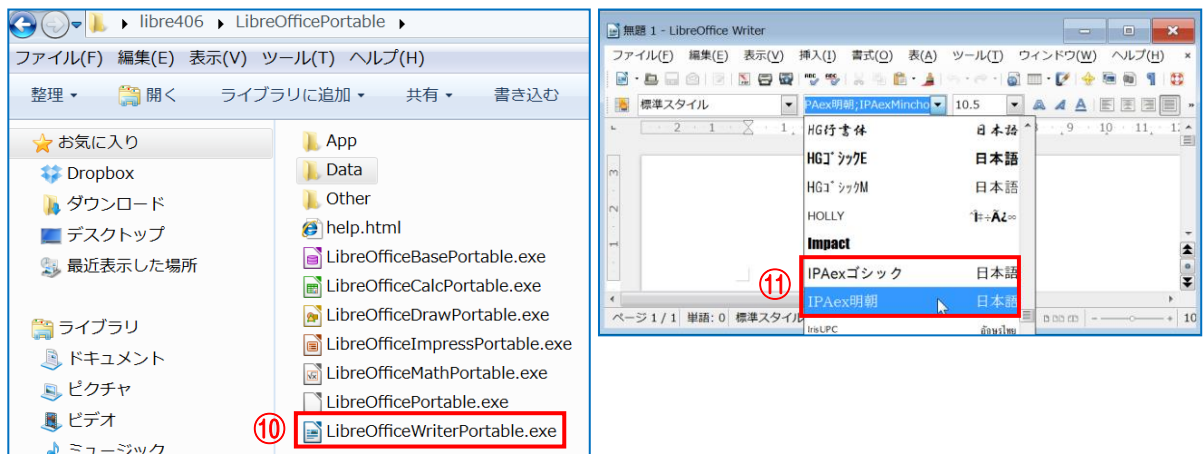
- (6)「IPAexfont00201」フィルダ⑥を開き、中にあるファイルをすべて⑦をコピーする。



- (7)デスクトップにある「libre406」→「LibreOfficePortable」→「Data」→「fonts」⑧を開き、この中に張り付け⑨る。



- (8) デスクトップにある「libre406」→「LibreOfficePortable」を開く→「LibreOfficeWriterPortable」⑩を起動し、フォントのリストに IPAex 明朝と IPAex ゴシックの2つのフォント⑪が入っていることを確認する。→「IPAexfont00201」⑥フィルダは削除する。



注： USB または CD には「LOP(USB)」フォルダをパソコンに入れて使用する場合は、Libre ソフト本体を入れるフォルダや写真を入れておくフォルダなどに日本語名を使用しないこと。日本語名のフォルダがあると写真が開けないなどの問題が発生する可能性があります。